

交流核形成まちづくりプラン新旧対照表

番号	頁数	新（交流核プラン修正案） R6.9.9 都市計画審議会	旧（交流核プラン案） R6.3.26 都市計画審議会
1	1	高島平地域都市再生実施計画（R4.2） 社会変化に対応してビジョンを時点更新するとともに、まちづくりの第一歩となる重点地区を設定し、 <u>旧高島第七小学校（以下、「旧高七小」という。）</u> の跡地等を起点に「交流核形成」に取り組む方針を示している。	社会変化に対応してビジョンを時点更新するとともに、まちづくりの第一歩となる重点地区を設定し、 <u>旧高七小</u> の跡地等を起点に「交流核形成」に取り組む方針を示している。
2	2	③顕著な高齢化 高島平二・三丁目では、少子高齢化、 <u>単身世帯の増加、人口減少</u> が急速に進行し、地域の活力低下が懸念されています。また、高齢者向けの医療や福祉サービスのニーズが高まっています。	高島平二・三丁目では、少子高齢化が急速に進行し、地域の活力低下が懸念されています。また、高齢者向けの医療や福祉サービスのニーズが高まっています。
3	3	図の福祉施設、保育施設の凡例を分離	—
4	3	③豊かなみどり けやき通りの街路樹や高島平緑地、団地内に至るまで、 <u>ゆとりのある空間</u> に約 50 年の歴史を持つみどりが面的に広がり、グリーンインフラとして地域の貴重な資源となっています。	けやき通りの街路樹や高島平緑地、団地内に至るまで、約 50 年の歴史を持つみどりが面的に広がり、グリーンインフラとして地域の貴重な資源となっています。
5	6	（2）みどり豊かなまちの形成 高島平の地域資源である、みどり豊かで、 <u>日常的に公開され</u>	（2）みどり豊かなまちの形成 高島平の地域資源である、みどり豊かで、

		<u>た</u> 空間が充実し、まちの密度にゆとりがある質の高い街並みを活かしたまちをめざします。	空間にゆとりがある質の高い街並みを活かしたまちをめざします。
6	6	⑨公共空間とつながる街区内空間 人々の交流の場となり、災害時にも活用できる、公共空間とつながりをもたせる <u>日常的に公開された</u> 街区内空間を整備する。	⑧公共空間とつながる街区内空間 人々の交流の場となり、災害時にも活用できる、公共空間とつながりをもたせる街区内空間を整備する。
7	6	⑤高島通りの再整備 <u>将来の自動車交通を加味しながら、高島平駅前を中心とした高架下と一体的な駅前空間の拡充や、歩行者ネットワークと連動した地上レベルでも高島通りを安全に横断できる空間を形成する。</u>	新規
8	7	③再整備地区 旧高七小を連鎖的都市再生の起点として活用し、居住の安定と生活の継続性に寄与する機能を誘導する。屋外空間には、交流を生み出す人々の活動の場となり、災害時には避難にも活用できる防災性の向上に寄与する機能を誘導する。	<u>旧高島第七小学校</u> を連鎖的都市再生の起点として活用し、居住の安定と生活の継続性に寄与する機能を誘導する。屋外空間には、交流を生み出す人々の活動の場となり、災害時には避難にも活用できる防災性の向上に寄与する機能を誘導する。
9	7	④再整備地区（暫定的な活用） 旧高七小の校庭が担っていた、地域の交流の場としての機能を残し、人々の活動をつなぐための空間を確保する。	<u>旧高島第七小学校</u> の校庭が担っていた、地域の交流の場としての機能を残し、人々の

			活動をつなぐための空間を確保する。
10	7	⑥駅周辺エリア（公共公益ゾーン） 子育て世帯の定住に向けて、プロムナード（東側）と一体とな って、文化的で創造的な活動を支える <u>教育・文化・交流機能</u> や、 住民の生活の質の向上に資する公共・公益機能を配置する。	子育て世帯の定住に向けて、プロムナード （東側）と一体となつて、文化的で創造的 な活動を支える文化交流機能や、住民の生 活の質の向上に資する公共・公益機能を配 置する。
11	7	⑧駅周辺エリア（複合居住ゾーン） 歩行者ネットワークと交流・共創・ <u>産業支援機能</u> を連携させな がら、お住まいの方々の居住の安定に配慮しながら、多様な世 代が住み続けられる住まいや、子育て世帯の定住化を促す機能 など、さらなる連鎖とミクストコミュニティの実現に向けた居 住機能を誘導する。	歩行者ネットワークと交流 <u>機能</u> ・共創機能 を連携させながら、お住まいの方々の居住 の安定に配慮しながら、多様な世代が住み 続けられる住まいや、子育て世帯の定住化 を促す機能など、さらなる連鎖とミクスト コミュニティの実現に向けた居住機能を誘 導する。
12	8	連鎖的都市再生に合わせて、交流核の計画的な土地利用転換 と駅前拠点エリア <u>周辺</u> の土地の健全かつ合理的な高度利用によ り、…	連鎖的都市再生に合わせて、交流核の計画 的な土地利用転換と駅前拠点エリアの土地 の健全かつ合理的な高度利用により、…
13	8	①高架下エリア 交流、まちづくり推進機能など 高架下空間を活用したまちづくりに参加したくなる機能を誘導 し、改札前空間とデッキネットワークとつなげ、 <u>都市づくりへ</u> <u>の期待と交流を生み出し、高島平駅の北側へと効果を波及させ</u>	高架下空間を活用したまちづくりに参加し たくなる機能を誘導し、改札前空間とデッ キネットワークとつなげ、 <u>交流を生み出す</u>

		る空間を形成する。	空間を形成する。
14	8	<u>⑦プロムナード（緑地）</u> <u>成熟したみどりを活かしながら、プロムナード（西側）・（東側）と連動して再整備し、みどり豊かで誰もが居心地が良く使いやすい空間を形成する。</u>	新規
15	8	図中に⑦を追加	新規
16	9	<u>①デッキネットワーク（ペDESTリアンデッキ）の形成</u> <u>交流核を一体的につなぎ、高島平地域全体へと効果を波及するデッキネットワークを、将来の負担が小さくなるよう、デッキと建物を組み合わせて構築する。</u> 安心・安全で、 <u>誰もが</u> 移動しやすいまちをめざし、 <u>日常的な利便性</u> が高く、歩車分離を図りながら交流核の回遊性を高め、水害時には浸水期間であっても避難や物資の運搬に機能するデッキを整備する。	<u>①ペDESTリアンデッキの整備</u> 交流核を一体的につなぎ、 <u>ユニバーサルデザイン</u> に配慮した、誰もが快適で歩きやすい、多様な機能を持つペDESTリアンデッキを整備する。 安心・安全で移動しやすいまちをめざし、利便性が高く、歩車分離を図りながら交流核の回遊性を高め、水害時には浸水期間であっても避難や物資の運搬に機能するデッキを整備する。
17	9	断面図に植栽を追加	新規
18	11	<u>③校庭が担っていた、地域の活動や交流の場となり、都市づくりの試行的な活動の受け皿となる広場</u> （4,000 m ² 程度）の整備	<u>③校庭が担っていた、地域の活動や交流の場となる広場</u> （4,000 m ² 程度）の整備
19	11	再整備地区では、連鎖的都市再生の起点となる旧高七小の限ら	再整備地区では、連鎖的都市再生の起点と

		れた土地を有効に活用し、高島平のまちづくりに寄与する多くの地域貢献を実現するため、土地の合理的かつ健全な高度利用を行います。	なる <u>旧高島第七小学校</u> の限られた土地を有効に活用し、高島平のまちづくりに寄与する多くの地域貢献を実現するため、土地の合理的かつ健全な高度利用を行います。
20	11	断面図に植栽を追加	新規
21	12	高島平の全体像を把握しながら、まちづくりと連携してウォークアブル <u>なまち</u> の実現に向けた検討を進めていきます。	高島平の全体像を把握しながら、まちづくりと連携してウォークアブルの実現に向けた検討を進めていきます。
22	12	<p><u>②モビリティの導入</u></p> <p><u>高島平の特徴となる平坦な地形や、空間に余裕があるまちを活かし、歩行者の安全を確保しながら、子育て世帯や高齢者などの多様な人が移動しやすい手段となるモビリティの導入を検討します。</u></p> <p><u>モビリティは日常の移動の利便性の向上と環境面へ貢献していくほか、様々な事態に活用できるものを想定します。</u></p> <p><u>民間事業者との連携や、UDCTak の知見を活かしながら、高島平に求められるモビリティの実装実験等を行います。</u></p>	新規
23	13	<p><u>5)景観に配慮したまち</u></p> <p><u>建物の整備や、デッキネットワークを構築する際は、視線が開けた連続性がある駅前景観の形成に加え、崖線や荒川等の景観資源を活かした、遠景にも配慮した景観を形成します。</u></p>	新規

24	14	1)水害リスクの可視化	新規
25	14	<p>2)人流データの活用</p> <p>板橋区・UR 都市機構が多様な主体と協働して、『“地域の価値の再認識”と“新しい価値観の創出”を目指すこと』そして、『“未来のまちづくり”に向けた皆様の声を聴く』イベントとして、令和5年9月に「#平暮らしキャラバン 3rd」を開催しました。</p> <p>このイベントは、Wi-fi センサーを活用した人流データを計測しており、イベントの効果や、周囲への波及効果を可視化しています。</p> <p>今後もイベントや実証実験を通じて、新たな人流データを計測し、都市づくりの基礎データとして活用します。</p>	新規
26	14	平暮らしキャラバン 3rd の写真追加	新規
27	15	<p>(5) まちづくりの推進体制の構築</p> <p>UDCTak との更なる連携に向けて、エリアプラットフォームを構築し、<u>高島平地域での活動を担う住民、キーパーソン、NPO 法人、大学、民間事業者等の多様な主体の</u>活動や連携を強化し、交流を生み出して、<u>地域の持続的価値を向上します。</u></p> <p>また、UDCTak を民間事業者との連携の受け皿とし、<u>まちづくりや良好な開発を誘導する助言、先端技術の実証実験等を促進します。</u></p>	UDCTak を含めたエリアプラットフォームを構築し、活動を担うキーパーソンや民間事業者等の連携を強化し、交流を生み出します。

		<u>これらのまちに求められる様々な知見を「民・学・公」で積み上げ、高島平に必要な機能をまちへ実装し、まちへと還元していきます。</u>	
28	16	高島平地域の持続的な発展をめざし、連鎖的に都市再生を進める上では、 <u>居住の安定や生活の継続性に配慮した上で</u> 、単一的な地域課題の解決だけでなく、社会変化や地域のニーズを踏まえ、段階的に都市機能を強化し、戦略的にまちづくりを進めていきます。	高島平地域の持続的な発展をめざし、連鎖的に都市再生を進める上では、単一的な地域課題の解決だけでなく、社会変化や地域のニーズを踏まえ、段階的に都市機能を強化し、戦略的にまちづくりを進めていきます。
29	18	子どもの成長の場であった小学校跡地と緑地空間を活用し、 <u>「子育て世帯（主にこれから子育て～未就学児）」に選ばれ続けるため</u> 、子育てを始めるための機能の充実や防災性の向上を図ります。	子どもの成長の場であった小学校跡地と緑地空間を活用し、 <u>「子育て世帯」をターゲット（主にこれから子育て～未就学児）に</u> 、子育てを始めるための機能（ <u>子育て・教育環境</u> ）の充実や防災性の向上を図ります。
30	18	①再整備地区の建設工事 多様な世代の定住を支える住宅や生活利便性の向上に資する施設の工事 <u>など</u> 公共空間と一体となった屋外空間・デッキ等を整備する。	多様な世代の定住を支える住宅や生活利便性の向上に資する施設の工事 <u>や</u> 公共空間と一体となった屋外空間・デッキ等を整備する。
31	18	<u>④デッキネットワークの整備（一部）</u> 利便性や回遊性の向上、安全な移動や災害時へ寄与する多様な	新規

		機能を持つデッキネットワークを整備する。	
32	18	図中に④デッキネットワークを追加	新規
33	19	<u>④デッキネットワークの整備（一部）</u> 利便性や回遊性の向上、安全な移動や災害時へ寄与する多様な機能を持つデッキネットワークを整備する。	新規
34	20	図中に④デッキネットワークを追加	新規
35	20	図中の民間誘導とプロムナードの再整備の矢印の長さを調整	—
36	20	第1ステップのスケジュール 旧高七小の施設計画の検討	施設計画の検討
37	20	スケジュールに年度を追加	
38	21	高島平の将来イメージがわかる章を追加（扉ページ）	新規
39	22	高島平の都市イメージとして、「これまで」と「これから」が混ざり合う「まち」高島平の考え方を追加。	新規
40	23	21・22 ページの思想が実現した場合のまち・活動の姿（鳥瞰パース）を追加。	新規
41	23	21・22 ページの思想が実現した場合のまち・活動の姿（アイレベルパース）を追加。	新規